

インターンシップ実習の手順について

群馬大学大学院理工学府・理工学部



学生支援係(1号館1階) インターンシップ担当 TeL0277-30-1062・1034

E-mail:t-internship@ml.gunma-u.ac.jp



学生への配付資料①

<学生が行うこと>

- ①「インターンシップ事前確認(事前訪問)」
- ②「インターンシップ実習報告書」(word様式)
- ③「インターンシップ実施結果アンケート(学生用)」

(Excel様式)

④「実習日誌」

実習メモとして,使用する。単位取得する場合は,提出する必要がある。

様式①~③は、理工学部HPからダウンロードできます。

https://www.st.gunma-u.ac.jp/gakuseishien



大学から企業・機関に依頼する事項

実習期間5日間以上に対応 く大学から企業・機関に依頼しているもの>

- ①「指導担当者による実習評価表」
- ②「インターンシップ実施結果アンケート(受入先用)」



実習の前に行うこと①

- 代表者を決める 複数名で同じ実習先に参加の場合
 - 一人で参加の場合は、その人が代表
- 2. 各メンバーで事前訪問日の打合せを行う
 - ①全員で訪問できるように、実習先を考慮して 訪問日を 3案程度決めておく
 - ②連絡が取り合えるよう各自の連絡先を交換



実習の前に行うこと② (事前訪問)

1. 企業・機関との日程の打ち合わせ(実習初日の1ヶ月前までに) 実習生(代表者)が実習先担当者へ電話をする 別紙「インターンシップ事前確認の仕方」を参考に 必要事項を確認し、日程などを決定する

実習先担当者は、メールで送付済み「インターンシップ受入可否回答票」 にて確認

2. 代表者は訪問日や確認事項を、各メンバーに 伝達する 全員まとまって訪問するための集合場所、交通 手段などを決める



実習の前に行うこと③(事前訪問)

3. 事前訪問の際は、全員揃って訪問する

受付にて群馬大学理工学部の学生であることを名乗り、 来訪の目的、訪問先(部署・担当者名)を告げること

●時間には余裕をもって行くこと

約束時間の15分前には到着 構内待機し、約束時間になったら入室する

- ●服装・挨拶・言葉遣いに気をつけること
- 通勤に要する時間、公共交通機関の時刻、経路の確認



インターンシップ実習中

- ① メモ帳(日誌)、筆記用具は常に携帯する
- ② 職場の就業規則に従い実習に臨むこと
- ③ <mark>緊急事態</mark>(交通事故、病気等)により、実習に影響する場合(遅刻、欠席など)は、<u>速やかに受入先</u> 担当者に連絡をすること
 - 重大な事故などは理工学部学生支援係へも連絡すること (連絡先)
 - 1. 理工学部学生支援係インターンシップ担当 TEL:0277-30-1062 0277-30-1034
 - 2. 休日、平日時間外(守衛室)TEL:0277-30-1019



インターンシップ実習中

実習日誌の取扱いについて

- ・実習メモとして使用する。
- ・受入先に日誌があり、作成指示がある場合はそれを 作成すること。(単位取得希望者はどちらかを提出)

(最終日)

実習指導者・受入担当者等などに御礼の挨拶借用した作業着、名札、機器などは忘れずに返還する



実習後に行うこと①

1. 実習終了後、学生支援係(インターンシップ担当) ヘメールで 終了したことを報告 (全員対象)

E-mail:t-internship@ml.gunma-u.ac.jp

件名(タイトル)・・・実習終了(実習先企業名)

本文・・・学科・氏名・実施期間を必ず入れること

2. 礼状を出す(重要)

実習終了後、全員が実習担当者へ1週間以内に礼状を 出すこと ※サンプルは理工学部学生支援係HP



(https://www.st.gunma-u.ac.jp/gakuseishien)を参照



実習後に行うこと②

- 3. 「インターンシップ実習日誌」(単位取得希望者のみ) 「インターンシップ実施結果アンケート(学生用)」を学生支援係に提出する
- 4. 「インターンシップ実習報告書」※報告書は公開します を作成し、学生支援係へメール添付ファイルで提出

(様式ダウンロード先 https://www.st.gunma-u.ac.jp/gakuseishien)

提出先 t-internship@ml.gunma-u.ac.jp

- 3及び4の提出期限 実習終了後2週間以内
- 5. 成果報告会の発表準備をする



服装について

ビジネススタイルの服装(クールビズ)参考例

以下を参考に、品位と節度を保った服装を心掛けること。



シャツ: Yシャツ、ボタンダウン等。

白色・淡色系でストライプなど

の柄物も可。

ズボン : スラックスや綿パンツ等。

ストライプなどの柄物も可。

上 着: セーター、カーディガン等。

く つ : 革靴、パンプスや踵に保持の

あるもの。

※職場では、安全上、作業服・安全帽・安全靴等の着用 が義務付けられている場合があります。

